

案件

(仮称) 第3次枚方市子ども・若者育成計画の策定について

子ども未来部 子ども青少年政策課

1. 政策等の背景・目的及び効果

本市では、平成25年度に「枚方市子ども・若者育成計画」（以下、「計画」という）を策定し、ひきこもりやニート、不登校の子ども・若者を早い段階から相談につなげ、自立に向けた支援を行うため、さまざまな施策を推進してきました。平成29年度には、複合性・複雑性を増した子ども・若者の有する課題に対して、重層的な支援の充実が求められる中、子ども・若者に対する支援を、より総合的かつ計画的に推進するため、計画の改定版を策定しました。

この度、現行計画が令和4年度をもって終期を迎えることから、令和5年度から令和9年度の5年間に計画期間とする「(仮称) 第3次枚方市子ども・若者育成計画」（以下、「3次計画」という）の策定に取り組むものです。

2. 内容

(1) 現行計画における主な取り組みと課題

【主な取り組み】

- ・オンラインを活用した情報発信や居場所支援
- ・アウトリーチなど相談者の状況に応じた相談支援
- ・ひきこもり・不登校の家族会等当事者団体との連携による支援
- ・ひきこもり予防としての小・中学校における不登校対策

【主な課題】

- ・コロナ禍に伴う新たな生活様式への対応
- ・当事者及びその家族のニーズ変化の把握とその対応
- ・義務教育における支援と義務教育以降の支援の連携

(2) 3次計画で検討する主な内容（予定）

計画の策定にあたっては、ひきこもりや不登校の子どもを持つ家族会に対するアンケートや相談支援利用者に対するアンケートなどを実施します。また、令和3年4月に策定された「第3次子供・若者育成支援推進大綱」の内容、現行計画での取り組みや課題などを踏まえ、子ども・若者とその家族の状況やニーズに合わせた新たな相談支援、多様な居場所の利用促進、義務教育以降も途切れない支援を行うことなどを視野に入れ、検討を行います。

3. 実施時期（予定）

令和4年5月	教育子育て委員協議会に計画策定について報告
6月	枚方市青少年問題協議会に計画策定について諮問
7月	アンケート調査実施
11月	枚方市青少年問題協議会から答申 教育子育て委員協議会にて計画（案）について報告 パブリックコメントの実施
令和5年2月	教育子育て委員協議会に計画（最終案）について報告
令和5年3月	計画策定・公表

4. 総合計画等における根拠・位置付け

総合計画 基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち

施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち

第2期枚方市子ども・子育て支援事業計画

施策目標1 子どもの人権擁護の推進

SDGs との関連



5. 関係法令・条例等

子ども・若者育成支援推進法

6. 事業費・財源及びコスト

《令和4年度事業費》 562千円

(内訳) 青少年問題協議会委員報酬 304千円 (9,500円×8人×4回)

計画冊子作成にかかる印刷製本費 200千円 (500部)

アンケート調査にかかる郵送費 58千円

《財源》 国庫補助 421千円 (補助率3/4) の協議中